

ブラジルと神戸と私たち

学校所在府県：兵庫県

学校名：神戸市立出合小学校

名前：梶村 杏子

実践教科：総合的な学習の時間、音楽

指導時数：4時間

対象学年：小学校4年生

対象人数：76人（2クラス）

1. 教師海外研修を通して感じたこと

国際協力・JICAの活動を自分の目で確かめたいとの思いがあり、今回の研修に応募した。研修テーマは「ブラジルと日本のつながり」。日本とブラジルのつながりとは？と調べるところから始まった無知な私であったが、治安が悪いがサッカー好き、サンバやボサノバの音楽の国・・・と、ありふれたイメージから一転した日々を過ごすことができた。日本人の私はブラジルをほとんど知らないにもかかわらず、日本の文化がブラジルに根付き影響をもたらしているということ。そして日本から遠い地球の裏側で、日本文化や日本語を勉強している人達がいるということ。知らなかった、という一言では終わらせたくないとの思いが強く残った。

2週間という短い時間ではあるが、様々な方々に出会えた。細やかな気配りで「みなさんの喜びが私の喜びです」と対応してくださる日系人スタッフの方や、「住めば都よ」と2歳で日本から移住したと語るおばあさん。ブラジルに住む人々は明るく前向きな印象であった。日本にルーツがある方々であるが日本に住んでいたらこのような考え方は生まれるのだろうか。出会うことがつながりであり、出会わないとつながらない。今回の研修で、ブラジルは私にとって大切な国の一つとなった。この世界には知るべきことがある。出会うべき人がいる。やるべきことがある！志が同じ仲間に出会い、研修に参加させて頂く機会を与えてくださったJICAに感謝を、また新たな出会いを気付かせてくれたブラジルにOBRIGADA！（ありがとう）と伝えたい。

2. カリキュラム

（1）実践の目的・背景

現在、多国籍の人達が多く住む中で、日本にルーツを持たない子供たちは早く日本語を覚え、日本の社会や文化、学校に馴染まなければならない。あたりまえといえばあたりまえかもしれないが、もう少し日本側からの共生への歩み寄りがあってもよいのでは、と感じている。たとえば、もし転入生が日本語を話さない子供ならば、その子の話す言語を皆で覚えてみたり、文化やマナーを知ってみたりするなどである。異国の文化やしきたりなどを学ぶことは大変かもしれないが、これからの国際社会に対応するには必要不可欠ではないかと考えている。これからの子供たちには広い視野をもって育てて欲しい、との思いから授業実践を行った。

神戸市の社会科の取り組みとして、3・4年生では「わたしたちの神戸」という副読本を使って学習を行っている。3年生では「私たちの町と神戸市」という単元で神戸の街や港について学ぶ。神戸とブラジルのつながりが深いこと、また神戸にしながらブラジル移民のことを学ぶ機会の少ないことから、実践授業では神戸とのつながりを意識し取り組んできた。3年生の校外学習では、移民の碑を通過しその付近でお弁当を食べる、というくらい身近な場所であるにも関わらず、碑の存在を知らないことが多い。ブラジルにも同じ移民の碑があり、日本からはブラジルを、ブラジルからは日本を指さし立っていることを今回の研修で学んだ。私を含め子供たちにとって大きな驚きだった。知ることににより広がる、子供たちのブラジルへのイメージが少しでも身近なものになったら、と願っている。

(2) 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1 時限目 ブラジルを知る。 * ブラジルに関する基礎知識や合奏曲「ブラジル」の紹介し、共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ● ブラジルのイメージを共有する。 ● 有名人や有名な食べ物などをクイズ形式で答える。 ● 国旗の意味を知り、世界地図を見て、日本とブラジルの大きさや、場所などを確認する。 ● 合奏曲「ブラジル」を鑑賞し、感じたこと、リズム、ブラジルのイメージなどを話し合う。 ● サンバのリズムを紹介し、リズムに合わせて体を動かしたり、手拍子したりする。 ● 実際に教師がブラジルに行くことを伝え、調べてきてほしいことなどを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界地図 ● 国旗やサンバの写真（パワーポイント） ● サンバの曲 ● 「ブラジル」のCD ● 質問ワークシート
2 時限目 ブラジルと日本のつながりを知る。 * 神戸とブラジルのつながりについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ● リベルタージやサントスの移民の碑などブラジル撮った写真と、日本の似ている場所の写真を見比べ、なぜこんなに日本と似ているのかを知る。 ● 日本人の作っているカカオや胡椒、アグロフォレストリーを紹介する。 ● カカオの実や胡椒を見せ、実際に触ったりにおいを確かめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 写真（パワーポイント）（各班に配布する写真） ● カカオ ● 胡椒
3 時限目 ブラジルの日系人を知る。 * ブラジルでがんばっている人を知ろう。ブラジルで活躍する小長野さんの生き方とは。	<ul style="list-style-type: none"> ● ブラジルの警察や犯罪の多さなどを知る。 ● 地域警察プロジェクトを知り、日本の警察とブラジルの警察のつながりを知る。 ● ブラジルで活躍する日本人、小長野さんの生き方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 写真（パワーポイント）（各班に配布する写真） ● 小長野さんの出演するTVのDVD ● カカオ（中身） ● ワークシート
～音楽会に向けて～ 合奏曲「ブラジル」への取り組み（13時間）		
4 時限目 ブラジルサンバに親しもう。	<ul style="list-style-type: none"> ● 日伯協会サンバチームの方々を招き、ブラジルへの思いや、サンバの演奏を聴く。 ● 「ブラジル」を一緒に演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽器 ● 鑑賞カード

3. 授業の詳細

1 時限目：「ブラジルを知る」

ねらい…ブラジルに関する基礎知識や合奏曲「ブラジル」の紹介し、共有する。

◆内容◆

- ① ブラジルのイメージを共有する。（サッカー、サンバの踊っている様子などの写真）
- ② 有名人や有名な食べ物などをクイズ形式で答える。
- ③ 国旗の意味を知り、世界地図を見て、日本とブラジルの大きさや、場所などを確認する。
- ④ 合奏曲「ブラジル」を鑑賞し、感じたこと、リズム、ブラジルのイメージなどを話し合う。
- ⑤ サンバのリズムを紹介し、リズムに合わせて体を動かしたり、手拍子したりする。
- ⑥ 実際に教師がブラジルに行くことを伝え、調べてきて欲しいことなどを考える。

！ココがポイント

合奏曲「ブラジル」は音楽会で演奏する曲なので、取り組む時間が長くなる。できるだけ第一印象がわくわく楽しくなるように、クイズやリズム遊びなどで、気持ちを盛り上げながら鑑賞できるよう心掛けた。

児童の質問

(調べてきて欲しいことアンケートより)

- ▶ ブラジルの子供たちはどんな服を着ているの？
- ▶ どんな食べ物が好き？
- ▶ どんな勉強をしているの？

◆所感◆ ブラジルといえば、サッカーだけでなく、サンバ、コーヒー、アサイーなど思った以上にブラジルについて知っている子供が多かったことに驚いた。神戸市は5月に神戸まつりの中でサンバストリーートのイベントがある。サンバは身近な存在であるようで、ブラジルといえば…「サンバ!」との答えに納得していた。

2 時限目：「ブラジルと日本のつながりを知る」

ねらい…神戸とブラジルのつながりについて考える。

◆内容◆

- ① リベルタージやサントスの移民の碑など、ブラジルで撮った写真と、日本の似ている場所の写真を見比べ、なぜこんなに日本と似ているのかを知る。
- ② 神戸から移民としてブラジルに渡った人たちがいることを知る。
- ③ どのようにしてブラジルに渡ったか、またどの位の日本人がブラジルに移り住んだかを知る。
- ④ 日系人の作っているカカオや胡椒、アグロフォレストリーを紹介する。
- ⑤ カカオの実や胡椒を見せ、実際に触ったりにおいを確かめたりする。

★ブラジルクイズ★		
どんな色の人たちがいますか？		
どんな家柄がいますか？		
どんな食べ物を食べていると聞きますか？		
どんなことばを話していると聞きますか？		

ブラジルの子供達に聞きたいこと
疑問に思っていることなどがあれば、どんどん書こう！

()年()月()日

！ココがポイント

ポートタワーが写る神戸の移民の碑の写真や、神戸の街中にある鳥居などの写真とを比較して見せた。神戸とブラジルのつながりを、より身近に感じられるようにした。
BGM や教師の衣装をブラジルの物に替え、ブラジルの雰囲気を感じられるようにした。

児童の感想

- ▶ 神戸とブラジルにつながりってあるん？って思ったけど、本当につながっていた！
- ▶ 神戸からそんなにたくさんの方がブラジルに行っていてびっくりしました。

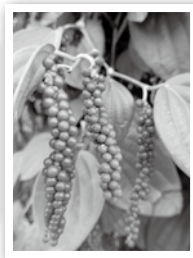
◆所感◆ 3年生で行った校外学習から、ポートタワーや、メリケンパークなど子供たちにとっては身近な場所の中に移民の碑があり、神戸とブラジルを繋いでいることに「すごい!」と心に深く印象付けられたようだった。胡椒やカカオの実を興味深く触ったり匂いを嗅いだりしていた。



ブラジルと日本をみつけよう



胡椒の手触りや匂いを確認



購入したマラカスとサンバホイッスル♪

3 時限目：「ブラジル日系人を知る」

ねらい…ブラジルでがんばっている人を知ろう。ブラジルで活躍する小長野さんの生き方とは。

◆内容◆

- ① 犯罪の割合世界地図を見て、ブラジルの警察や犯罪の多さなどを知る。ブラジルの犯罪の多さはなぜなのか。
- ② 地域警察プロジェクトを知り、日本の警察とブラジルの警察のつながりを知る。
- ③ ブラジルで活躍する日本人、小長野さんの生き方を知る。
- ④ 苦労して胡椒やカカオ、アサイーを育て成功している小長野さんが、無償で貧しいブラジル人のために農法を教えていることを伝える。
- ⑤ なぜ、「自分だけが幸せになってはいけない」と考えているのか。DVD で小長野さんの話を視聴する。

！ココがポイント

前回の授業では、神戸からブラジルに渡った日本人たち、と明るく楽しい印象であったが、ブラジルの犯罪や日本人達の苦労を知ること、今の日本の安全や、チョコレートなどの食べ物への感謝の気持ちを持たせるようにした。

児童の感想

- ▶ 小長野さんに実際に会って話を聞きたいと思った。
- ▶ どうして政府は「金のなる木がある」とブラジルに行くようにすすめたのだろうか？
- ▶ もし自分もブラジルに行ったら小長野さんみたいにブラジルの人に信頼されることをしたいと思った。

◆所感◆ 4年生は日本の警察についての勉強をしていたので、日本の警察がブラジルの警察のお手本になっていることに興味深く聞いていた。小長野さんが出演する「世界なぜそこに？日本人」のDVD を見ることで、裕福になっても周りの人のために無償で農法を教えたりする実際の姿を伝えることができた。



アサイーの原産地に注目



ブラジルの警察官



公園にも音楽が♪



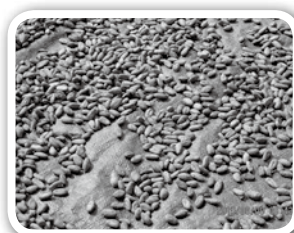
カカオ



カカオの中は・・・



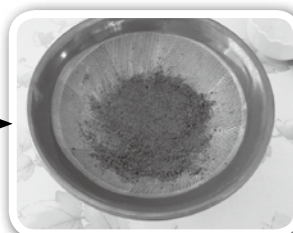
中身を出して・・・



乾かして・・・



すりつぶすと・・・



チョコレートになりました



パンに塗ってみました♪

～音楽会 13時間～

ねらい…音楽学習を中心に日頃の教育活動の発展的な発表の場とする。音楽会の練習を通してお互いに認め励まし合い協力する態度を身に付ける。心をこめて楽しく演奏したり聴いたりすることにより音楽を愛好する気持ちを育てる。

児童の感想

- ▶ 「ブラジル」はとてもうきうきする合奏で、とても楽しかったです。
- ▶ みんなの息があっていたので「やったー！」と思いました。自分の力を出せたと思います。
- ▶ 合奏はリズムよくできて、のりのりで、とてもわくわくしました。

◆所感◆ 子供たちは合奏曲「ブラジル」が好きで、13時間の他にも始業前の時間や昼休みなども練習を重ねてきたが、楽しみながら取り組んでいた。それは、明るさや陽気でのりの良いリズムであるこの曲の良さから来るものだと思う。私自身がブラジルでサンバやカーニバルに出会えなかったことが残念であったが、「夏休み中、ブラジルのリオやサンパウロは、冬だったんだよ」と伝えると、日本の冬にカーニバルが行われる季節の違いや、地球の不思議さにも興味を示していた。

4 時限目：「ブラジルサンバに親しもう。」

ねらい…神戸ブラジル協会サンバチームの方たちと交流することで、ブラジルやサンバへの思いを聞き、音楽のつながりについて知る。

◆内容◆

- ① 日伯協会サンバチームの方々を招き、ブラジルへの思いや、サンバの演奏を聴く。
- ② サンバで使われる楽器を体験する。
- ③ 「ブラジル」を一緒に演奏する。

！ココがポイント

音楽会で「ブラジル」を演奏してきたがサンバ協会の方々と一緒に演奏することで、自分たちとは違った演奏を知ることができるようにした。また、言葉だけでなく音楽でも世界と交流できる、つながれる、ということ学ばせたいと取り組んだ。

児童の感想

- ▶ ブラジルにはたいこがいっぱいあって全部違う音がした。楽器体験できて楽しかったです。
- ▶ 私たちの「ブラジル」よりも 100 倍ぐらい迫力があってびっくりした。
- ▶ 初対面なのにコラボができて楽しかった。ブラジル協会の人もみんな笑顔で楽しそうでした。

◆所感◆ 私が少し盛りだくさんのプログラムを計画してしまったので心配であったが、神戸ブラジル協会の方たちは授業の数日前から細やかな準備をしてくださった。そのおかげで子供たちは「次は何をするの？」とわくわくした気持ちを隠し切れずに過ごしていた。また、子供たちの練習してきた大好きな「ブラジル」を一緒に演奏することで、さらに楽しさを味わうことができたように思う。神戸ブラジル協会の方には心より感謝いたします！



サンバ鑑賞♪



楽器体験♪



たくさんの
サンバ用の楽器♪

4. 成果

普段は音楽の授業でしかかかわらない子供達と「総合的な学習の時間」を通じて、お互いの知らない一面や、興味関心、知識などを共有する機会を得たことが大きい。音楽の授業でもポルトガル語を使い、ブラジルを身近に感じられるようにしてきた。音楽会では、合奏「ブラジル」に取り組んだ。マラカスやサンバホイッスルなど特徴のある楽器を取り入れ、のりの良いリズムに親しみながら音楽会を成功させることができた。取り組む曲の時代背景や作曲された由来などを説明することは多いが、今回のように作曲された国についてじっくりと学んだことは初めてであったので、子供たちに印象深く学ばせることができたのではないかと考えている。また、4年生は2学期の初めに社会科「わたしたちの神戸」において「地域社会における災害及び事故の防止のために働く警察の仕事」について勉強をしており、ブラジルの警察プロジェクトにとって、日本の警察がお手本になっていることを知ると、「やっぱり日本の警察はすごい」などと驚きの声があがっていた。また、自分たちの住む街から多くの人が出航したこと、神戸とのブラジルのつながりについての驚きの声も多かった。ブラジルに住む多くの日系人、ブラジル人が日本語を学んでいることも知り、自分たちも、もっとブラジルについて知りたいとの思いが生まれたようであった。

5. 課題

研修後、日伯資料館を訪れたりカーニバルに参加したりすることで、日伯協会の方々と親しくなりサンバチームがゲストティーチャーとして演奏にきて頂く機会を設けることができた。しかし今回の実践授業で終わりではなく、これからもこのようなつながりを大切にしていくことが必要であると感じている。

参考文献

- 「行ってみたいなあんな国こんな国 中南米編」岩崎書店
- 「世界の子どもたち ブラジル・カミーレとアンドレのカーニバル」偕成社
- 「世界の子どもたちいま ブラジルの子供たちはいま 第Ⅰ期」株式会社学習研究社
- 「蒼茫」石川達三 新潮文庫

参考映像

- 「世界なぜそこに？日本人」TV 東京